

第2回ワークショップ結果概要

引田・代継・網代区域（網代）

日 時：平成30年10月6日（土） 19時～21時

会 場：網代会館

参加者：17人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第1回ワークショップのふりかえり
（席替え）
4. グループワーク
 - （1）この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？
 - （2）（1）で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？
5. 交通手段の事例紹介
6. ふりかえり、閉会

■資料説明

ワークショップの開催趣旨、ワークショップの実施方法等、第1回ワークショップにおいて詳説した事項を再度簡単に説明するとともに、第1回ワークショップにおける話し合いの結果を振り返った。

■席替え

当日の参加者には、第1回ワークショップと同じ席に着いていただき、資料説明の後、より多くの人と話し合いをしていただくことを目的として、くじ引きによる席替えを行った。なお、第2回の参加状況から、A～Dの4テーブルのうち、Cを除外した3テーブルとした。

■グループワークの結果1：この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？

「この地区の公共交通には、どのような機能や役割が必要だと思いますか？」との設問に対し、3つのテーブルに分かれ、テーブルごとに意見を出し合った。

■グループワークの結果2：グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？

「グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？」との設問に対し、引き続き同じテーブルごとに意見を出し合い、後にテーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有した。

テーブルごとの意見を集約すると、概ね次表のとおりとなった。

■「グループワーク1で挙げた、この地区の公共交通に必要な機能や役割のうち、特に優先的に必要なものは何ですか？」

○利用したいときに利用できる	・タクシー利用補助（利用券）の配布
○近所同士による相乗り、乗合タクシー、タクシー割引	・できれば市から自治会へ車両を貸与 ・利用したいときに利用できるようにある程度の台数を確保 ・行政と地域で費用分担（タクシーは高額になる）
○自治会への電動自転車貸与	・行政から自治体へ電動自転車貸与されることにより、自治会会員による相互利用
○その他	・行き先：武蔵増戸駅 ・手 段：小型バス ・大手スーパー等による無料の直通バス運転

■交通手段の事例紹介

グループワーク終了後、第3回以降のワークショップに向けて、各地の公共交通に対する取組事例の概要を紹介した。

■テーブル別結果概要 グループワーク1

テーブルA

交通のタイプ	目的地	頻度・時間帯	料金/その他
・盆堀地区のようなバス	・家の前まで ・家の近くに来てほしい ・家の前から目的地まで	・呼んだら来てくれる ・希望する時間に来てくれるとよい	・タクシーは安心 ・タクシー補助券
・住民同士で運転手担当制 ・地元の人のボランティア（少額は出す）	・武蔵増戸駅 ・秋川駅・秋川方面	・定期的に通っているとよい ・毎日決まった時間に ・毎日最低2本 ・曜日に関係なく毎日、午前・午後とも3、4本	・地域と行政で費用負担
・買物便 ・スーパー便	・バス停まで	-	-
・デマンド交通	・買物 ・スーパー	-	-
-	・病院 ・勤務先 ・習い事	-	-

テーブルB

交通のタイプ	頻度	目的地	その他
・るのバス ・小型バス ・ワゴンによる定期バス ・バス停以外でも乗降できるように ・無料の小型バス	・3回/週（月・水・金等） ・朝昼晩3回運行	・イオン（日の出町） ・病院 ・駅（武蔵五日市駅、増戸駅） ・市役所	・雪の日も運行できる小型車
・利用したいときに利用できる交通	-		
・タクシー補助	-	-	-
・ゴルフ場・幼稚園等民間企業のバスの活用	-	-	-

テーブルD

対象者	交通のタイプ	頻度	目的地	その他
・免許返納後	・区域内を走行できる小型バスワンボックス（10人乗り程度、狭い道路を通行可、区域内にバス停3箇所程度またはフリー乗降）	・1日に3回 ・朝夕	・武蔵増戸駅 ・秋川駅	・家の近くから利用できる ・行きたいところへ行きたいときに行ける
	・相乗りの仕組みづくり ・数名まとまって買物 ・団体乗合		・イオン	・自動運転可能な車の配置（将来）
	・他の施設のバス利用（五日市カントリー） ・ショッピングセンター直通バスの運行			-
	・電動自転車の提供（市から自治会へ）			-

■テーブル別結果概要 グループワーク2

テーブルA

・家の前から（高齢になるとバス停に行くまでが大変）
・呼んだら来てくれる（時間を気にしない）
・タクシー会社に（安全・安心）
・行政と地域で費用分担（タクシーは高額になる）

テーブルB

A. 乗り合いタクシー	・利用したいときに利用できるようにある程度の台数を確保
B. タクシーの割引	-

テーブルD

A. それぞれ利用したいときに利用できる	・タクシー利用補助（利用券）の配布
B. 自治会への電動自転車貸与	・行政から自治体へ電動自転車貸与されることにより、自治会会員による相互利用
C. 近所同士による相乗り	・できれば市から自治会へ車両を貸与
D. その他	・行き先：武蔵増戸駅 ・手 段：小型バス ・大手スーパー等による無料の直通バス運転

■第2回ワークショップの様子

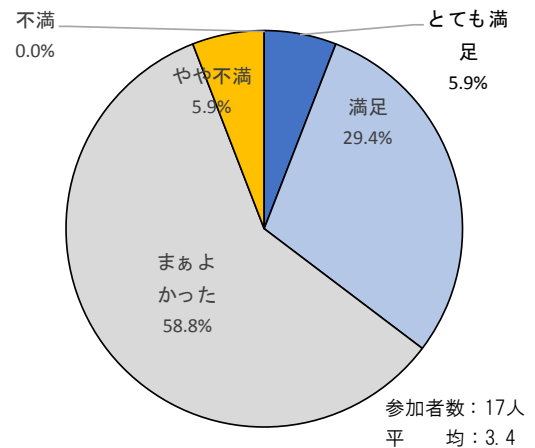


■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満

平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの



○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・ 2回目を迎え「ワークショップ」の意味合いが納得できた事
- ・ この地域で何が求められているか、年齢にかかわらず共通していることがわかった
- ・ あきる野市は他の市町村にくらべてコミュニティバスの予算が少なく感じた
- ・ 地区内にアップダウンはあるものの、あまり不便さはないので、あるべき方向が難しい
- ・ 特に優先的に必要なものは何かと言う事を考えた
- ・ 将来の事のようにですが本当にできるかどうか心配です
- ・ 現実的な事として考える時、近隣が離れているので利用しやすい方法手段をいろいろ出し合い検討している
- ・ 地域の状況を考えると「タクシー利用」がベストなのではと思った

○ファシリテータ（進行役）やほかの参加者の発言で、特に印象に残っている発言があれば、ご記入ください。

- ・ グループごとの意見を尊重しましょう！と言ってくれた事
- ・ 進行役の人が分かりやすかった。他の参加者も2回目という事もあり、スムーズに話しができ、発言も出たと思います。
- ・ 電動自転車の貸し出しは良いアイデアと思いました！
- ・ 網代地区はやはり坂が多いので特別な地域である
- ・ タクシーが良いとの事ですが割引券などが欲しいとの事が印象的です
- ・ 電気自動車

○本日の企画・運営で、良かった点、感じた課題をお教えてください。

- ・ 個人の意見を優先してくれる所が良かった
- ・ 本日の話し合いの視点がつかみづらかった
- ・ みんなと会話できる良い機会でした
- ・ 乗合タクシーの補助券は良いが、費用が増える
- ・ 第1回と今回のワークショップに出た意見との間にあまり差はなく、同じことのくり返しのように感じた
- ・ 交通手段にもいろいろな形態があるのだと特徴におどろいた
- ・ 条件を付けた検討をすべきでは？難しい
- ・ 将来の事ですが良い意見がたくさん出た事が良かった
- ・ 前回の時より企画が分かりやすかった。前回はショックを受けた方が多かった
- ・ 各テーブルのまとめは良かった